

令和2年、広島は被爆75年を迎えます。「75年は草木も生えぬ」と言われた広島で、当時、どのような思いで、広島の子どもたちへの教育が作られ、行われていったのか。戦後75年の広島で、改めて、広島市の教育の原点を考えてみたい。

広島市にとっての平和教育 (昭和20～30年代)



～広島市では、なぜ、平和教育が大切にされ、戦後、どのように取り組まれてきたのか？～

- 主な参考文献
- ・広島市教育委員会三十年の歩み(広島市教育員会)
 - ・広島市学校教育史(広島市教育センター)
 - ・己斐プランの展開(己斐小学校)
 - ・初期社会科授業論の展開(小原友行)
 - ・「己斐プラン」にみる初期社会科(下西茂樹)

広島市の平和教育目標

ヒロシマの被爆を原点として、生命の尊重と一人一人の人間の尊厳を理解させ、国際平和文化都市の一員として、世界恒久平和の実現に貢献する意欲や態度を育成する。

Q.なぜ広島市では、平和教育が大切にされ、どのような平和教育を目指してきたのか？

Q.広島市の「平和への教育」の思いは、どのように具現化されていったのか？

《広島市立国民学校の原爆被害と学校の再開》

- S20.8.6 市立国民学校(35校)の被害
- 建物被害…全壊15校, 中破11校, 小破8校, 被害なし1校
 - 被害者数 ※行方不明者や把握不能者多数のため正確な把握は困難。
 - ・教職員(約950名) 即死者約100名, 重軽傷者約150名
 - ・児童(約2000名) 即死者約1700名以上, 重軽傷者約1500名以上
 - 被爆直後, 学校は, 応急の救護所や臨時病院として活用
- S20.9～
- 被害の少なかった学校から再開し, S21末までに28校が開校
 - ・バラック教室・青空教室・仮校舎・圧縮授業等の工夫
 - ⇒ 廃墟から復興へ向かう町で, 今後, どのような教育をするべきか, 「新教育」「民主教育」「世界平和へ寄与する教育」の模索が始まる。

《平和記念都市広島へ》

- S20「ユネスコ憲章」…前文 戦争は人の心の中に生まれるものであるから, 人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。
 - S21「日本国憲法」…戦争放棄と平和主義
 - S22「教育基本法」…個人の尊厳, 真理と平和を希求する人間育成を明示
 - S22「学習指導要領」…児童・生活中心, 問題解決学習へ転換
- ◎ S24「広島平和記念都市建設法」制定
- …広島市を恒久平和を誠実に実現しようとする理想の象徴へ＝〔平和記念都市〕
- 広島市を「平和の都」「平和のメッカ」「平和のセンター」へ
- ◎ 濱井信三広島市長の平和宣言
- 「地球上に永久の平和を確立するために広島市民は, その先駆者となり, 広島が世界の平和都市として建設されなければならない」と決意する。」

《「教育の力」によって平和記念都市広島へ》

- S25 広島市教育委員会発足の声明書

「本市を恒久平和の象徴とする平和都市として建設する道は、けしきよくはるかなるものがあるが、根本においては、教育の力によらなければならない。」

- S31 広島市小学校長会編「平和への教育」

「広島市民のこの悲願は, そのまま広島市すべての教育者の悲願であり, …児童を教育することによって, 真の平和市民として成長させねばならぬとの固い悲願に立ち上がった。…「平和への教育」に開眼したのである。」

広島市がめざす平和教育は、ただ単に、博愛主義や国際親善を唱えたり、原水爆禁止や戦争反対と叫んだりにとどまる狭い意味での平和教育ではない。人としての「平和の心」「平和の活き方」をより重視する、平和な社会を形成する資質の育成をめざす「平和への教育」である。平和記念都市建設法の公布を受け、憲法・教育基本法に基づき、学校教育の中核、人間形成の基本として、「平和への教育」という目標を設定した。被爆地広島において、恒久平和の建設という課題を学校教育の基本目標として設定したのである。

《各学校で取組を推進》

- 【S24.11 実験学校 己斐小学校 での取組…己斐プラン】の展開
- 学校経営目標…平和都市広島市民の育成

「広島は平和として、崇高な理想の具現地として如何なる条件を具備したらいいか。兎角架橋・大道の設定・記念塔の建立といった物質的外観の方面が考えられ易いが、最も肝要なのは平和を求めて止まぬ情熱の人、平和の殉教徒としてすべての難に勇気を失う事のない人ではないかと思案する。」

 - 平和教育の時と場…「常に」「あらゆる場で」「特定の行事を通じて」「偶発事件の必要に際して」指導する
 - 各学年ごとの教育目標を設定
 - 【1年】家庭・学校・社会でよい子になるためにはどうすればよいか。
 - 【2年】近所の人達はどんな生活をしているか。それになるにはどうすればよいか。
 - 【3年】世の中の人とはどのような生活をしているか。またどうすれば住みよい町にすることができるか。
 - 【4年】どのように人は自然を利用してきたか。また、決まりよい生活をするにはどうすればよいか。
 - 【5年】人はどのように社会を進歩させたか。我々は生活を豊かにするにはどうすればよいか。
 - 【6年】よい社会をつくり、世界の仲間入りするにはどうすればよいか。
- 1日プラン
- | 時間 | 高学年 | 中学年 | 低学年 |
|-------|---------|---------|------|
| | 朝の清掃 | | |
| 8:30 | 朝会 | 話し合い | |
| 1 | みがき | おさらえ | おさらえ |
| | いこい | | |
| 9:30 | | | |
| 2 | しごと | しごと | しごと |
| 9:40 | | | |
| | レクレーション | | |
| 11:00 | | | |
| 3 | みがき | みがき | みがき |
| 11:20 | | | |
| | 給食・遊び | | |
| 12:00 | | | |
| 4 | みがき | みがき | |
| 13:00 | | | |
| 5 | 13:50 | 明日予定と清掃 | |
| | 15:00 | 自由研究 | |
- ◎単元例 6年「しごと」の時間「広島と平和」
- 平和都市広島の復興という願いを実現するために人々は工夫を行っているということの理解と、願いを実現するための態度・能力を育成する学習
- ※「しごと」は自然・社会・人間に対して児童の経験領域を広げ人間との相互依存の関係を究明する時間。社会・理科・家庭的側面。
※「みがき」は基礎的な学力を養う時間で、「しごと」を達成するための重要な役割をもっている時間。
・用具的なもの(国語・算数)
・情操的なもの(音楽・美術)
・保健衛生的なもの(体育)
- ※その他の具体的なカリキュラムは別冊参照

《広島市学校教育努力目標設定》

- S26.4 広島市学校教育努力目標設定
- 「『広島市学校教育努力目標』は、広島市平和記念都市建設法の基盤は「教育」にあるとの根本理念に立ち、「平和への教育」に究極の目標を求めたものである。…原爆という未曾有の苛烈悲惨な試練を体験した最初の人類である広島市民として、かつていかなる平和論者とも異なる高い純粋な立場において、新しい世界史の門出に立ち、「平和への教育」を追求せんとしたのである。」このように、平和を「絶対至上の価値」と認めて、努力目標が設定された。
- ※S26の努力目標は、①道徳教育の推進 ②保健体育の徹底 ③生産教育の推進の3つの柱で設定されていたが、S30には、3つの目標を統合し、「平和な社会を建設する生産人の育成」として設定された。

S27 宮川造六教育長「広島教育」

広島市は由來平和都市として建設すべく努力がはらわれている。この平和教育は実に現代教育の一大目標である。…平和主義にみちみちた…教育これに努めることが平和教育である。

己斐プランに見られるように、各学校において、目の前の子どもの実態に即した努力目標が定められ、平和への教育が推進された。その後、広島市全体の目標として設定し、S29からは3か年計画で充実に図られた。広島市の「平和への教育」は、学校全体の学校経営目標として設定され、常に追求するものとして求めてきたのが、広島市の平和教育である。

原爆被害と学校の再開

広島市の復興

平和への教育へ

各学校での取組 実験学校(己斐小)での取組

広島市全体の学校目標設定